自立貢献

あいさつは　あふれる笑顔の　あいことば

横浜市立錦台中学校 学校だより
発行日　平成 27 年５月２７日（水）

発行者　学校長　枝 迫 大 成
所在地　神奈川区西寺尾 3-10-1
電話 401-3644　FAX431-0244
URL　http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/nishikidai/

「きくこと」の大切さ

副校長　栗田智則

さわやかな風と夏の日差しを感じる季節となりました。各学年で予定されている宿泊行事や校外学習が、５月から６月にかけて実施されています。過日に実施された三年生修学旅行では、とても良い表情で３日間を過ごしたようです。（詳細報告は次頁）

さて、新年度が始まって２ヶ月が経過しようとしています。生徒の皆さんがとても落ち着いたふんい気で授業や部活動・委員会活動に取り組んでいる姿は、好印象です。授業では、得意不得意が人それぞれあるかもしれませんが、内容にできるだけ集中し、話をよくきいて、一人ひとり少しずつ力を付けてほしいと心から願っています。部活動では、三年生の集大成となる大会（試合）やコンクール・発表会が近づいてきます。横浜市立中学校総合体育大会開会式が、５月 20 日に横浜文化体育館で開催され、運動部の代表（部長）が参加をしてきました。一、二年生も含めて「がんばる姿」を応援し続けていきたいと考えています。

ところで、自分自身を向上させるために大切なこととして、授業をきくこと、技術面や生活面のアドバイス・指導をしっかりときく、ということは欠かせないことだと思います。「話をきく」や「音楽をきく」という場合の「きく」の書き方には、「聞く」と「聴く」があります。広辞苑によれば、広く一般的には「聞」をつかい、注意深く耳を傾ける場合には「聴」を使うと記しています。きく態度や姿勢・心構えなどによって「聞」と「聴」は使い分けるようです。中学校の授業では、ノートをとったり、考えたり、意見を言ったり、作業や実技をしたりと、さまざまな学習をします。授業の内容をよく「聴く」ということを大切にしてほしいと思います。「聴く」という漢字は「耳に十四の心」と書きます。諸説はあるようですが、県立子ども医療センターのドクターから教えていただいた 14 の心を、右枠に紹介します。最後には、「感謝する心」で聴くという言葉に、感銘を受けました。音楽で心を豊かにしたり、人の言葉にしっかり耳を傾けたりするなどして「きくこと」を意識した日々送って、充実した学校生活にしてほしいと思います。

14 の心とは‥‥
①美しい心で聴く　②新しい心で聴く
③広い心で聴く　④楽しい心で聴く（きいて、たのしくなる）
⑤嬉しい心で聴く（きいて、うれしくなる）
⑥面白い心で聴く（きいて、おもしろさがわかる）
⑦微笑みの心で聴く（きいて、ほほえましくなる）
⑧素晴らしい心で聴く（きいて、すばらしさがわかる）
⑨悲しい心を聴く（かなしみを共感する心できく）
⑩苦しい心を聴く（苦しみを共感する心できく）
⑪愛しい心で聴く　⑫労る心で聴く
⑬憂う心で聴く　⑭感謝する心で聴く